



きものを着る機会が多くなりました

きものや帯がお手元にある方はたくさんいらっしゃると思いますが、
いったいどれ程の人の手を渡って作られているか、通常考えも
しないことですね。

とにかく多くの専門分野の人々の方で、仕上がることには
間違いありません。

日本のきもの文化をいかに後世に残せるか、私共の想いを
お客様に知って頂くためにも、今日、児島有子氏、高橋康郎氏、
三谷精三郎氏にお越し頂きました。

「組紐」の実演、「裂織」の創作、「柳条御召」の制作について
伝統の技術のすばらしさをご紹介します。

是非、ご覧頂きたいと思います。

組紐工房

偕可園

1年ぶり!! 児島有子先生が来店されます♥

来店日 4/10、11、12



昇龍



二枚高麗竹の節



御岳組亀甲



唐組玉葛

国内でも数少ない、機械を使わない
「手組み」の技法を守り続けています。
四代目の児島有子先生が中心となり、
染色からデザインまでを一貫して手が
けている帯メはきもの潮見でも
大人気です。



私はフル出場します。
みなさんのご来店
お待ちしております。

小物屋みむら

織楽 一條庵

初来店!! 京都西陣の伝統的な織元の店主の三谷氏が来店されます



西陣お召(にしじんおめし)を主に
手がけています。
独自の「柳条(りゅうじょう)お召」など、
こだわり抜いた意匠の着尺や帯を
製作しています。
三谷氏は非常に気さくな方で、
反物を肩に乗せて顔映りを見ながら
接客をしてくれます。



柳条(りゅうじょう)お召



御召袋帯



高光織物

裂織の帯

若いころの着物、譲られた着物で着れない着物を
贅沢な究極のフルオーダー帯(八寸帯)を作りませんか?

来店日 4/11、12、13
(10日はきもののお預かりは可能です)



裂織八寸名古屋帯をつくるのに必要なのは絹の着物か羽織です。
色や模様や生地によっても趣深く、おしゃれな帯に変身します。
趣味性の高い帯は小紋、紬にぴったりです。
また、織り方で夏帯にも対応でき、着物ライフをさらに充実させます。



一例: 絹咲紬 更紗×白経糸

写真: 右上の生地が元の着物。
生地の下にある帯が完成品。



一例: 夏裂織「爽風」 銘仙×黒・白絹糸

写真: 右上の生地が元の着物。
生地の下にある帯が完成品。



《伝統工芸士》
高橋康郎氏来店

「西の西陣、東の桐生」

高光織物は、この「東の桐生」にある
織元の一つで、高橋康郎社長は2003年に
伝統工芸士にられました。
また、2002年群馬県「一社一技術」に
「裂織」が認定されました。

着物が糸に、そして帯へ
オンリーワンの帯でおしゃれに

